



八卦台

No. 4

平成29年8月1日
男鹿市立瀧西中学校

体験が学びを深める

地域に学ぶ、地域を舞台とした総合的な学習の時間

校長 森山 直人

7月の前半、2、3年生は、総合的な学習の時間で、様々な体験活動に取り組みました。

◇2年生～働くことと学ぶことを考えた 職場体験学習 7/10～13

昨年度までの二日間から、今年度は四日間の実施としました。四日間とすることにより、生徒たちの体験や体験先の方々との関係が深まるとともに、働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさなどの理解が進むという効果を期待してのことです。

職場体験学習を終えて学校に戻ってきたある生徒に感想を聞くと、「働くって大変なことだと思いました」と答えてくれました。その表情からは、暑い中、汗を流して働くことをやり遂げた充実感とたくましさを感じられました。また、ある生徒の活動日誌に寄せられた保護者の方からのメッセージには、「『学校に行って先生に会うとほっとする』という子どもの言葉がかわかった」というコメントがありました。四日間の職場体験学習が、いかに緊張、苦勞、やりがいの連続であったかが分かります。

<ご協力くださった事業所（敬称略）>

男鹿みなと市民病院、わかみ歯科クリニック、永源寺、有限会社寒風緑化、ホテルサンルーラル大瀧、東山長十郎梨園、マックスバリュ男鹿店、(株)スーパーセンターアmano男鹿店

働くことはとても大変だけれども患者さんやお客さんの笑顔が見られたり、感謝されたりしたらとてもうれしくなると感じました。また、働くことは生きるために必要なことなので、私たちのために働いてくれている家族に感謝したいと思います。



三日目には、この仕事の厳しさや仕事をする上で大切なことが分かってきました。そして達成感も出てきました。〇〇さんは掃除の時に一人で取り組んでいてすごい。自分も一人でできることは何でも自分でやろうと思いました。

◇3年生～共に支え合うことの大切さを 実感した福祉体験学習 7/5、6、11、12

地域包括支援センターのご協力により、7月5日には認知症サポーター養成講座、7月6日には介護体験を実施しました。介護体験では、実際に様々な福祉用具を使用したり専門家からのお話を聞いたりすることで、高齢者の身体の動きや福祉用具の工夫、介護の技術などについて知ることができました。また、22名の地域の方々のご来校くださり、生徒たちと一緒に百歳体操に挑戦し、親交を深めました。

そして、7月11、12日には、前の週に学んだことを実践するために、学区内の三つの福祉施設を訪問しました。福祉に関わる方々の働く様子、施設内の配慮や工夫などを学ぶことができました。利用者の方々や施設の皆様に温かく迎え入れていただき、「中学生が来てくれて元気をたくさんもらった」というありがたい言葉をいただきました。

<ご協力くださった事業所・施設（敬称略）等>

○認知症サポーター養成講座／

秋田緑が丘病院福祉部 認定心理士 渡部達也 様

○介護体験／(株)蒼きもり、(福)樹園、(株)ケアマックスコーポレーション東北営業所、(有)サンショウ、矢崎化工(株)、自主グループ百歳体操 中西絵津子 様

○施設訪問／特別養護老人ホーム和幸苑、秋田県障害者支援施設ひまわり苑、グループホームうめの木園



「福祉」という言葉には、「幸せ」という意味があるということを知った。「福祉」は、助ける、助けられるということを含めて「幸せになる」ということを言葉で表したものだと思う。

僕は、年をとって身体が不自由になっていくと、次第に笑うことが少なくなっていくのだと勝手に思っていました。しかし入居している方々は楽しそうにたくさん笑っていました。介護している方々が様々な工夫をし、不自由があってもいつものように楽しく笑える施設をつくり上げているのだと思い、感動しました。

事業所の皆様、施設の皆様におかれましては、本校の総合的な学習の時間の趣旨をご理解いただき、また、お忙しい中、貴重な時間を割いてご指導くださり、心から感謝申し上げます。保護者の皆様におかれましては、体験場所までの生徒の移動へのご配慮等、ご協力いただきありがとうございました。今回の体験を生かして生徒一人一人の探究活動が深まるよう支援してまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

白神の自然の中で自己を磨く

1年生 宿泊体験学習 7/10~11

あきた白神体験センターと周囲の大自然の中、1年生は宿泊体験学習を行いました。自然に親しむこと、集団生活を通して人間関係を深めること、学んだことを学校生活に生かすことを目標に、海辺の散策、白神こだま酵母パン作り、ジェルキャンドル作り、磯遊び、シーカヤック等、体験センターならではのたくさんのことに挑戦しました。体験学習を終えた生徒たちからは、「仲間との絆が深まった」「普段話さない人と話すことができてよかった」などの感想がありました。中には、「5年生の時には気付かなかったセンターの先生方の対応のすごさを感じることができた」など、キャリア教育の視点でのコメントも見られ、成長を感じさせる二日間でした。



白神こだま酵母パン作り



ジェルキャンドル



磯遊び



シーカヤック

ちょっと立ち止まって 潮風ギャラリー

船川港へ向かう海岸道を走っていると、海側に突然現れる巨大な絵画たち。これは秋田ブライウッド男鹿工場の防音壁を利用してつくられた「潮風ギャラリー」ですね。



「曇りの日の中庭」

平成29年度は、本校から2年生の杉本千尋さんの「曇りの日の中庭」、3年生の谷あずささんの「トキノナガレ」が展示されています。船川方面に御用がある際は、是非ご覧ください。ただし、運転手さんは、車を止めてから鑑賞してくださいね。



「トキノナガレ」

8月の行事予定

5	土	秋田高専オープンキャンパス 全国女子相撲岐阜郡上大会
6	日	部活動休止日 市P連研修会
7	月	1、2年課題点検日
11	金	山の日 県女子相撲選手権大会 なまはげキャンパスバスケットボール合同合宿
20	日	部活動休止日
22	火	夏季休業最終日
23	水	休み明けテスト 3年実力テスト
25	金	学校納金振替日
27	日	P T A 奉仕作業
28	月	潟中祭準備期間
31	木	市児童生徒理科作品展・発明工夫展

夏の軌跡 応援ありがとうございました。

- ◎全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会
7月9日(秋田県民会館) 小編成の部 銅賞
- ◎秋田県中学校総合体育大会(7月15日~18日)
【バスケットボール】(CNAアリーナ★あきた)
▽女子 一回戦 47 潟西中-勝平中 50
【相撲】(秋田県立武道場)
▽1年生個人の部 第4位 石川 風
【陸上競技】(秋田県営陸上競技場)
▽男子1年100M<予>薄田和馬14" 14
▽男子3年100M<準>畠山寛多12" 11、村井恵輝12" 32
▽男子共通200M<準>越前海斗25" 85、大越隆暉26" 91
▽男子2・3年1500M<予>渡部多聞5' 13" 36
▽男子共通走り幅跳び<予>薄田駿汰5 m53(決勝進出)
<予>村上裕麻5 m15
▽男子共通砲丸投げ<決>3位山内峻亮10m48
▽男子共通400MR<決>6位 47" 26(入賞)
畠山寛多、越前海斗、大越隆暉、村井恵輝
▽女子3年100M<予>斎藤瑠香14" 77、清水二葉14" 80
▽女子共通200M<予>小玉伶奈30" 61
▽女子2・3年1500M<予>尾崎春菜5' 41" 74
▽女子共通走り幅跳び<予>平戸碧3 m76、
谷梨里花3 m87
▽女子共通砲丸投げ<予>石川優李愛6 m46
▽女子共通400MR<予>
谷桃羽、小玉伶奈、谷あずさ、斎藤瑠香56" 92

全国・東北での健闘を祈る!

東北総体と全国大会に出場する選手の激励会が7月21日、夏休み前集会の中で行われ、4人の選手から力強い決意表明がありました。出場選手等は次のとおりです。

- 東北総合体育大会
 - ・陸上競技大会(青森市 8/10)
3年 山内 峻亮
 - ・相撲大会(八幡平市8/10)
1年 石川 風
- 全日本女子相撲郡上大会(郡上市8/5)
3年 石川 乃愛
2年 石川 玲愛



決意表明する山内君

潟中祭にお出てください

今年度も様々な内容を企画しています。どなた様もお気軽にお出てください。

- 日 時: 9月2日(土) 9:30~(予定)
- 会 場: 潟西中学校
- 内 容: 英語唱唱 学年・全校合唱
吹奏楽演奏 食品販売
作品展示 P T A コーナー

※詳細は次号でお知らせいたします。



2年連続準優勝!

市P連キックベースボール大会

7月9日に行われた大会で、本校P T Aチームは、村上P T A会長の名采配とお父さんたちの俊敏なプレーがガッチリとかみ合い、予選リーグ、準決勝を順調に勝ち上がりました。決勝戦の相手は、昨年度と同じ船越小P T A。リベンジを誓い果敢に攻めましたが、惜しくも優勝を逃してしまいました。お忙しい中、この夏一番の日差しを浴び、真っ黒に日焼けしながらプレーをしてくれたお父さん方、冷たい飲み物をもって応援に駆けつけてくれたお母さん方、本当にありがとうございました。



準優勝カップと笑顔のナイン

夏季休業前P T A 7/19

たくさんのご参加
ありがとうございました。

これまで5月と2月のみ開催していたP T Aですが、今年度は、夏休みが生徒たちにとってより充実したものになることや、より安全・安心な時間になることを願って、夏季休業前にも開催することとしました。

親子研修会では、秋田ネットの武田里美先生からネットトラブルからいかに自分を守るかということ、県内の中学校や高校で実際にあった事例をもとに教えていただき、ネットトラブルの危険さ、身近さを再確認することができました。

講演を熱心に聞く生徒たち



7月の潟中Topics

◆4日、7日 国語書写教室

払戸在住の竹村和香子先生をお迎えし、各学年2時間ずつご指導いただきました。先生からは、これまでの学習を生かした上での新たな創造についてお話いただきました。生徒たちは、自分が書きたい文字にマッチした扇紙や和紙などの素材を選んだり、墨の濃さを工夫したりするなど、様々な表現方法を早速試していました。



◆20日 薬物乱用防止教室(3年)

男鹿警察署の佐藤博美少年係長から、薬物の怖さについて教わりました。加えて、日常服用している薬も誤った使い方をすると毒になることや、身近にあるアルコールやタバコの害についてもお話がうかがえました。生徒たちの振り返りには、薬物の怖さや勧められても断る勇気、使おうとする人を止める友情について触れるなど、薬物への意識を高めている様子が見られました。

